

高齢者の力を社会に

連合会の活動や取り組みを紹介

9月20日は
敬老の日

地域を支えるお年寄り

38年の歴史を刻む市老連

ますます進む少子高齢社会の中で、家庭や地域でお年寄りをめぐる環境も大きく変わってきました。特に、地域では、さまざまな住民組織やボランティアでの活動などで地域を支える担い手として活躍。長年培った知識と経験を發揮し、わたしたちの暮らしを支えています。そこで、今回は各地域の長寿会や老人クラブの活動を取りまとめる市老人クラブ連合会を取材。高齢者への理解を深め、世代間交流や連携を進めていきたいと思います。

会員数の増加を目指して

市老人クラブ連合会(市老連)は県老連ができた一年後の昭和

今年の敬老の日は九月二十日、また、十五日から二十一日までは老人週間です。少子高齢社会でお年寄りの占める割合が高くなるにもかかわらず、核家族化が進み、地域での世代間交流の機会が少なくなるなど、お年寄りや若い人たちとの触れ合いが希薄になってはいないでしょうか。今回は、地域で元気に活躍するお年寄りのさまざまな活動について、市老人クラブ連合会(関口安太郎会長)の事務局で話をお聞きしました(担当は市民編集委員・大沢、三輪)。

問い合わせは広報広聴課 890 6642へ。

| 60歳以上の人口とクラブ数・会員数・加入率 | | | | |
|-----------------------|----------|------|---------|-------|
| 年度 | 60歳以上の人口 | クラブ数 | 会員数 | 加入率 |
| 昭和 54 | 3万2,730 | 370 | 2万779 | 63.5% |
| 昭和 59 | 3万7,823 | 411 | 2万3,143 | 61.2% |
| 平成 元 | 4万6,573 | 437 | 2万5,097 | 53.9% |
| 平成 6 | 5万6,019 | 463 | 2万6,301 | 47.0% |
| 平成 11 | 6万4,477 | 477 | 2万7,211 | 42.2% |
| 平成 16 | 7万4,418 | 478 | 2万6,847 | 36.1% |

四十一年に発足。今年で三十八周年を迎え、これまで長い歴史を刻んできました。事務局は日吉町二丁目の総合福祉会館内に



高齢者スポーツ大会でのスマイルボウリング

あります。

上表のとおり、現在の会員数は二万六千八百四十七人。ここ十年はほとんど変化がないようです。原則として六十歳以上が入会の対象ですが、現在、活動は七十歳代が中心。三十年前と比べて、本市の六十歳代人口は大幅に増加している一方で、加

入率は逆に低下しています。

こうした現状を踏まえて、六十歳代の人たちに多く加入してもらい、会員の若年化と会員数の増加を目指しているとのことでした。まだまだ元気で活躍している六十歳代の皆さんの力を地域社会の活動に生かしていくことが大切です。